

安倍と自民党をぶっ飛ばせ!!

鈴木たつおさん必勝へ!

東京8区(杉並区)／鈴木たつお弁護士

- 1959年 東京都立新宿高校を卒業。東京大学に入学。
- 1964年 NHKに入局。反戦派労働運動の先頭にたつ。
- 1968年 配転命令反対の百日間闘争を闘い、起訴・休職・解雇。
- 1991年 弁護士登録(第二東京弁護士会)
- 2014年 2月の東京都知事選挙に立候補
- 法政大学学生弾圧・弁護団長
- 国鉄千葉動力車労働組合・顧問弁護団
- 東京西部ユニオン鈴木コンクリート工業分会・解雇撤回訴訟
- 星野文昭さん再審弁護団長
- 「憲法と人権の日弁連をめざす会」事務局
- 「許すな改憲! 大行動」代表呼びかけ人
- 「すべての原発いまずぐなくそう! 全国会議」呼びかけ人



来たる衆院選(12月2日公示-14日投票)で、全学連は東京8区(杉並区)において「安倍たおせ!」を掲げて立候補する「鈴木たつお弁護士」を全面的に支持して闘います。全国学生のみなさんに、鈴木たつおさんへの支援を訴えます。「アベノミクスの破産」と戦争政治への怒りの中で、ついに安倍政権は打倒されました。今こそ、労働者・学生の決起で安倍にとどめを刺そう!

「鈴木たつおさんを応援します!」①

法政大学文化連盟委員長・武田雄飛丸

私は、衆院選で東京8区より立候補する鈴木たつお弁護士への注目と支持を呼びかけます。

鈴木さんは法政大での学生弾圧で、弁護団長として最先頭で闘ってこられました。現在も、私への「無期停学処分」撤回裁判と「暴行」でっち上げ裁判とともに闘い、今年2月には、戦前来の治安弾圧法による「法大暴処法弾圧」で、被告5人全員の「完全無罪判決」を確定させました。

11月4日に発生し、マスコミで大々的に報道された「京大公安警察摘発事件」に際しても、鈴木さんは真っ先に京大に駆



けつけ、学生を支持する講演を行っています。

法大や京大の現実、今や公安警察が大学キャンパス内を闊歩し、戦前と同じような「戦争協力への道」を「大学改革」の名の下に突き進んでいることを示しているのではないのでしょうか。

しかし同時に、学生が団結して闘えば、国家権力が相手でも勝てることを端緒的ながら証明しています。

安倍を倒す最短の道も、学生とともに国家権力・大学当局と非和解的に闘ってこられた鈴木さんを議会に送り出す中にこそあります。解散・総選挙は、追い詰められた安倍の断末魔のあがきです。何としても、鈴木たつおさんとともに安倍を打倒しましょう!!

全学連

全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

TEL/FAX 03-3651-4861

<http://www.zengakuren.jp/> mail_cn001@zengakuren.jp

安倍政権の延命を許さず、労働者が社会の主人公に

- ①改憲・戦争させない！ 安保関連法は絶対阻止！
- ②福島ของ怒りと共に、川内原発再稼働阻止！
- ③「命よりカネ」の社会を変える！
- ④労働者は奴隷じゃない！ 派遣法改悪許さない
- ⑤秘密保護法反対、公安警察による弾圧を許さない

★「生きる権利を！ 鈴木たつおとともに歩む会」HP → <http://suzutatsu.main.jp/>

<京都大生と連帯して闘う！>

11月4日、京都大学全学自治会同学会の仲間が、キャンパス



ス内に潜り込んで学生の政治活動を監視していた京都府警の公安刑事を摘発し、追及して叩き出す大勝利をかちとりました。その後、一斉にマスコミで「全学連」や「大学自治」が取り上げられましたが、鈴木たつおさんは11月12日の京大全学抗議集会にただちに駆けつけ、京大生と心から連帯して、『戦争と大学自治』と題した記念講演を行っていただきました。

<石原のぶてる叩き落とせ！>

東京8区(杉並区)選出議員は、自民党・石原伸晃です。前環境相・石原は、今年6月に福島での放射性廃棄物中間貯蔵施設建設をめぐり「最後は金目でしょ」なる大暴言を吐き、謝罪に追い込まれました。原発事故への福島県民の怒りを踏みにじり、「命よりカネ」という本性をはしなくも吐露したのです。石原とその父親の石原慎太郎もまとめて、鈴木たつおさんとともに東京8区からぶっ飛ばそう！



「鈴木たつおさんを応援します！」②

首都圏大学1年・K

ついに安倍政権が崩壊し、衆院選が始まります。私はこの選挙で、鈴木たつおさんを推薦します。安倍政治はどのようなものだったのでしょうか。「アベノミクス」で潤ったのは、一部の大資本のみ。一方で非正規職拡大、企業が儲けるための労働環境悪化、消費税増税で、「景気回復の実感」どころか生きるために必死な労働者がたくさんいます。1%の金持ちのための社会を変え、社会の主人公である労働者のための社会にするにはどうすれば良いのでしょうか？ 私たち民衆自身が自分の現場・職場から声をあげ、闘うことが重要だと思います。

しかし、社会を変えるために声をあげることは、権力の弾圧と対峙することが不可避です。みなさんもニュースで知っているかもしれませんが、キャンパスでスパイ活動をしていた公安警察が京都大の学生に取り押さえられる「京大ポポロ事件」がありました。その発端として、11月2日の労働者集会で「戦争反対・安倍打倒」を訴えてデモをした3人の学生が不当にもでっち上げ逮捕されました。こうした権力による弾圧に屈さず、闘う労働者・学生のために尽力してくれたのが、鈴木たつおさんです。鈴木さんは「自分に一票を入れてくれれば何とかしてやる」とは言いません。あくまで、「社会を変えるのは労働者・学生の声と闘いである」と訴えます。その闘いのために、青年・学生のための議員を議会に送りましょう。労働運動・学生運動を甦らせよう！ とともに闘い、社会を変えましょう！

～具体的な選挙ボランティア活動への協力をお願いします～

- ①公示後の連日(12/2～14)の街頭・駅頭宣伝に参加してください。
※宣伝場所は、「鈴木たつおとともに歩む会」HPか公式ツイッター(@suzutatsu_ikiru)で確認してください。
- ②選挙戦を闘う「決戦カンパ」を集中してください。
※振込先は郵便振替「00190-0-766112 全日本学生自治会総連合」で、「衆院選カンパ」と明記してお願いします。
- ③杉並区(東京8区)在住の友人・知人を選対本部へ紹介してください。
- ④各団体・サークルで「鈴木たつお応援」決議をあげて公表してください。
- ⑤「鈴木たつお支持」を訴えるビラ・資料をキャンパスで配布してください。
- ⑥「12月2日公示日」の選挙掲示板へのポスター貼りを担ってください。
- ⑦その他、少しでも手伝える方は、全学連までご一報ください。